

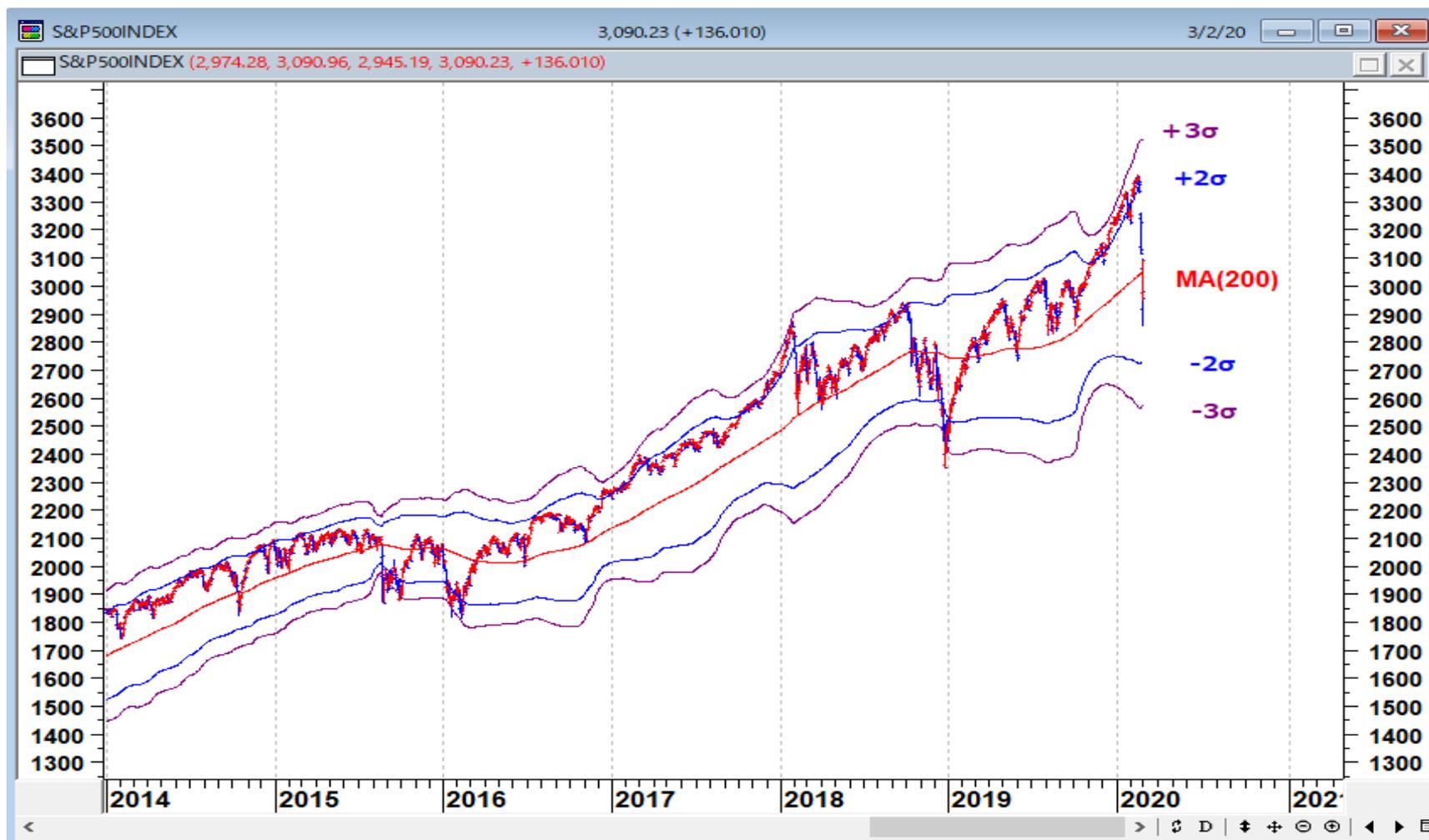
S&P500 (日足)



出所 : Real Investment Advice

S & P 500 (日足)

200日ボリンジャーバンド±3シグマ



出所：筆者作成

これから10年、株式市場はリセッションも下落もないと Fedが保証、S&Pは5600まで上昇する！？

The Federal Reserve Guarantees No Recession or Decline in Stocks for Another 10 Years: SPX 5,600, take it to the bank, Baby!



SPX chart: www.macrotrends.net commentary by charles hugh smith www.oftwominds.com 4/1/19

出所：<https://www.zerohedge.com/news/2019-04-01/fed-guarantees-no-recession-10-years-permanent-uptrend-stocks-housing>

Fedは住宅市場が次の10年上昇するのみだと保証した、どんなあばら家でも100万ドル以上の価値が出るだろう、サンフランシスコに至っては500万ドル以上になるだろう

The Federal Reserve Guarantees No Recession or Decline in Stocks for Another 10 Years: SPX 5,600, take it to the bank, Baby!



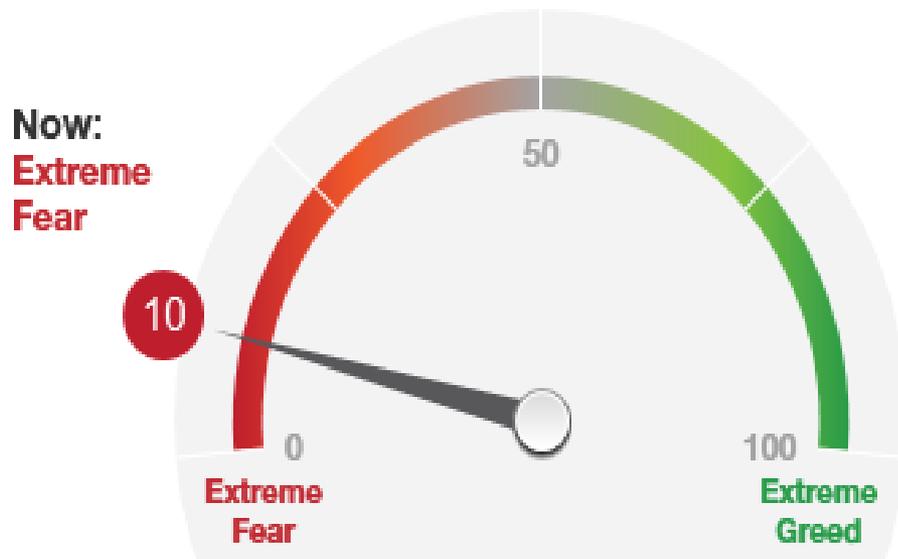
SPX chart: www.macrotrends.net commentary by charles hugh smith www.oftwominds.com 4/1/19

出所：<https://www.zerohedge.com/news/2019-04-01/fed-guarantees-no-recession-10-years-permanent-uptrend-stocks-housing>

CNN 恐怖と欲望指数 3月3日現在

Fear & Greed Index

What emotion is driving the market now?



Previous Close
Extreme Fear 13

1 Week Ago
Extreme Fear 22

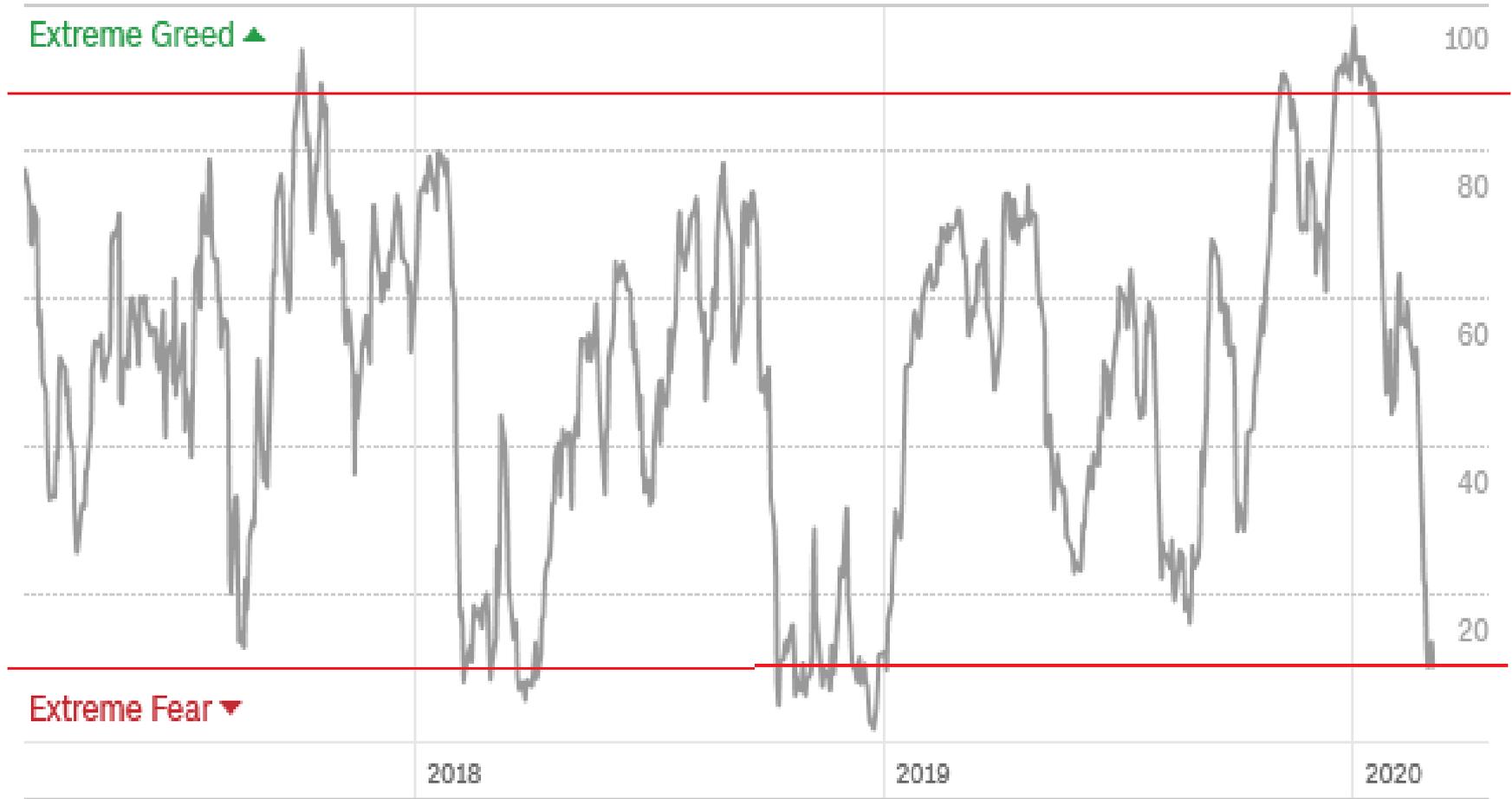
1 Month Ago
Fear 44

1 Year Ago
Greedy 66

Last updated Mar 3 at 4:59pm

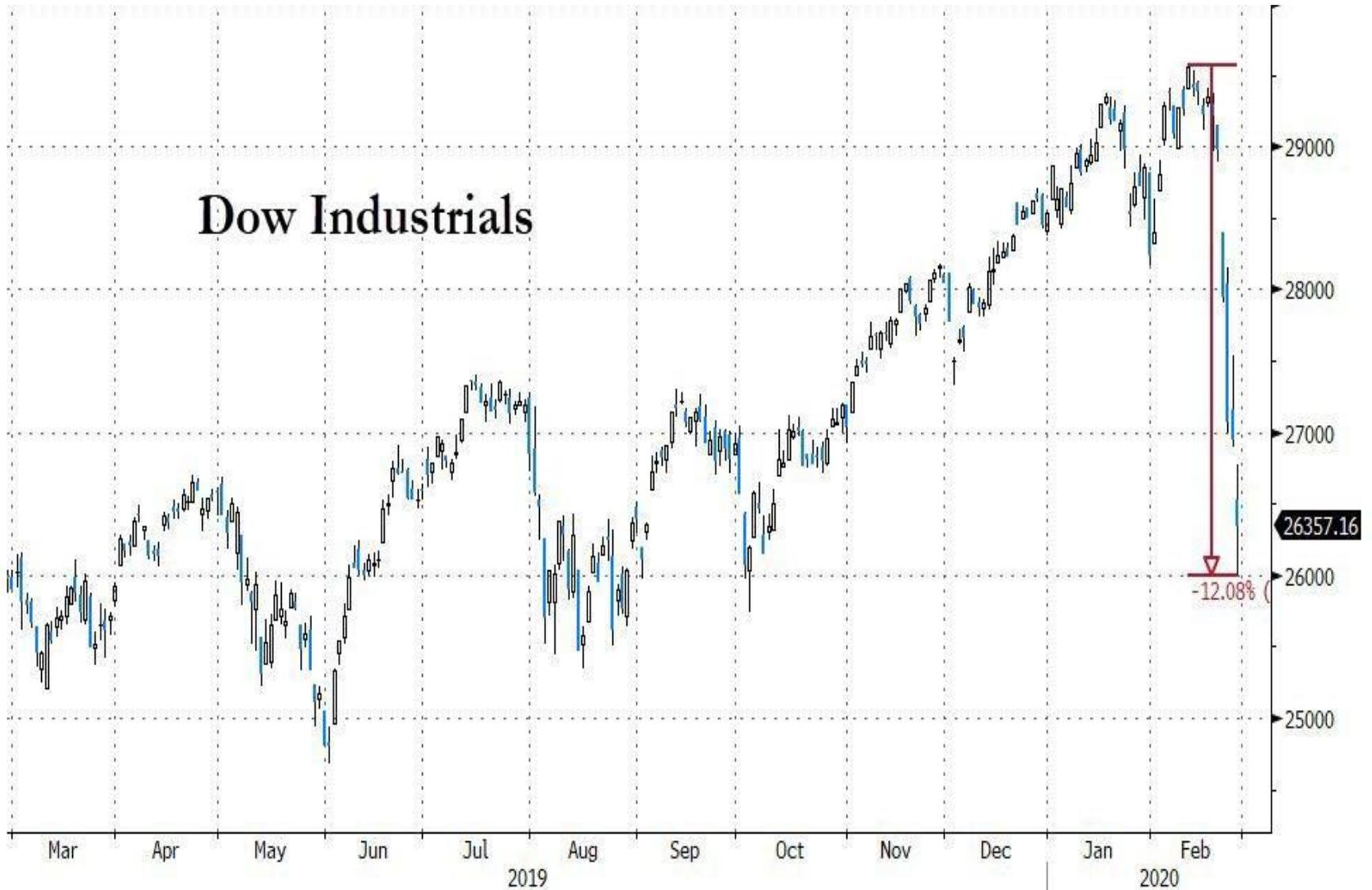
CNN 恐怖と欲望指数の推移 (2017年~2020年)

Fear & Greed Over Time

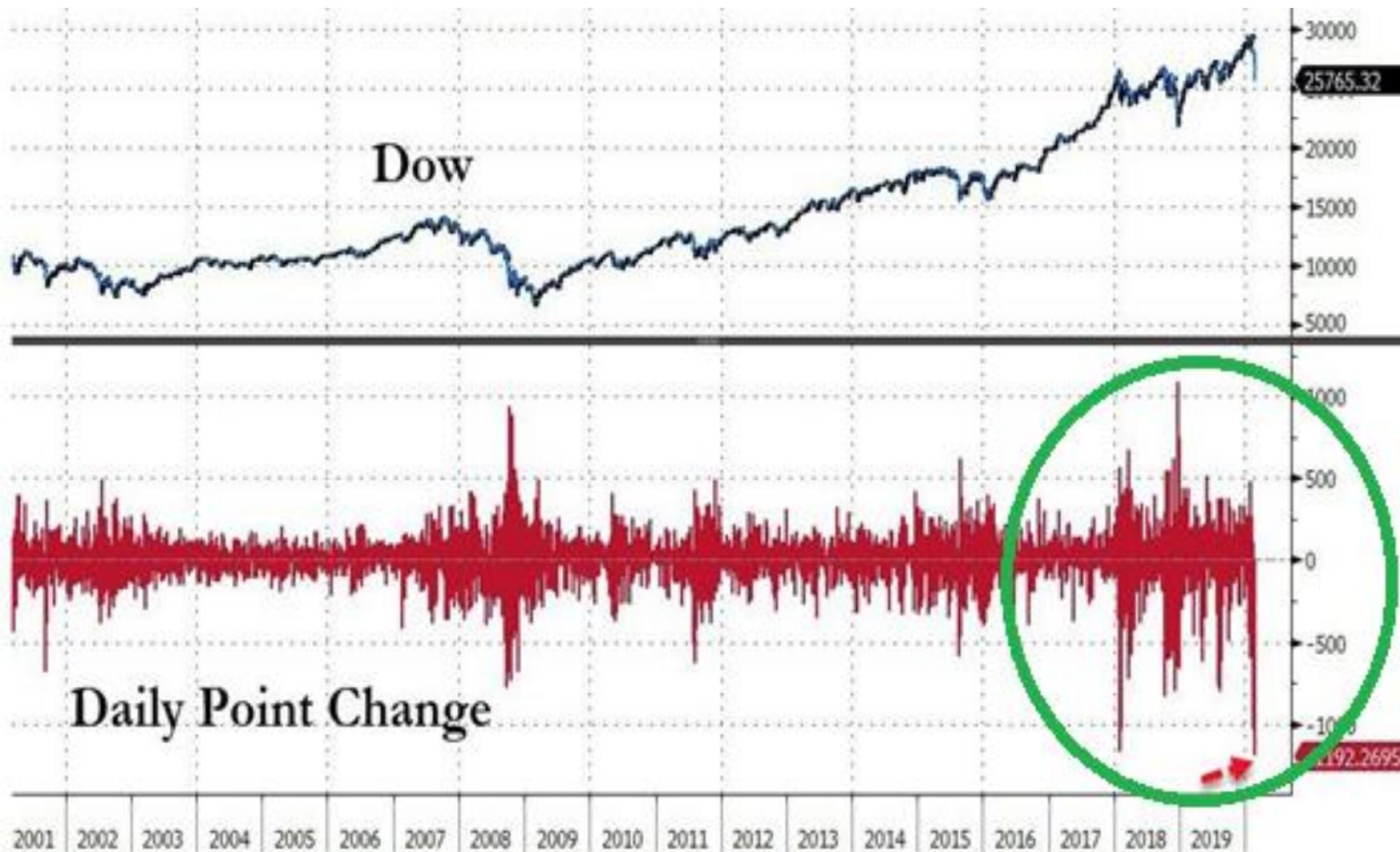


出所 : CNN

NYダウのナイアガラの下落

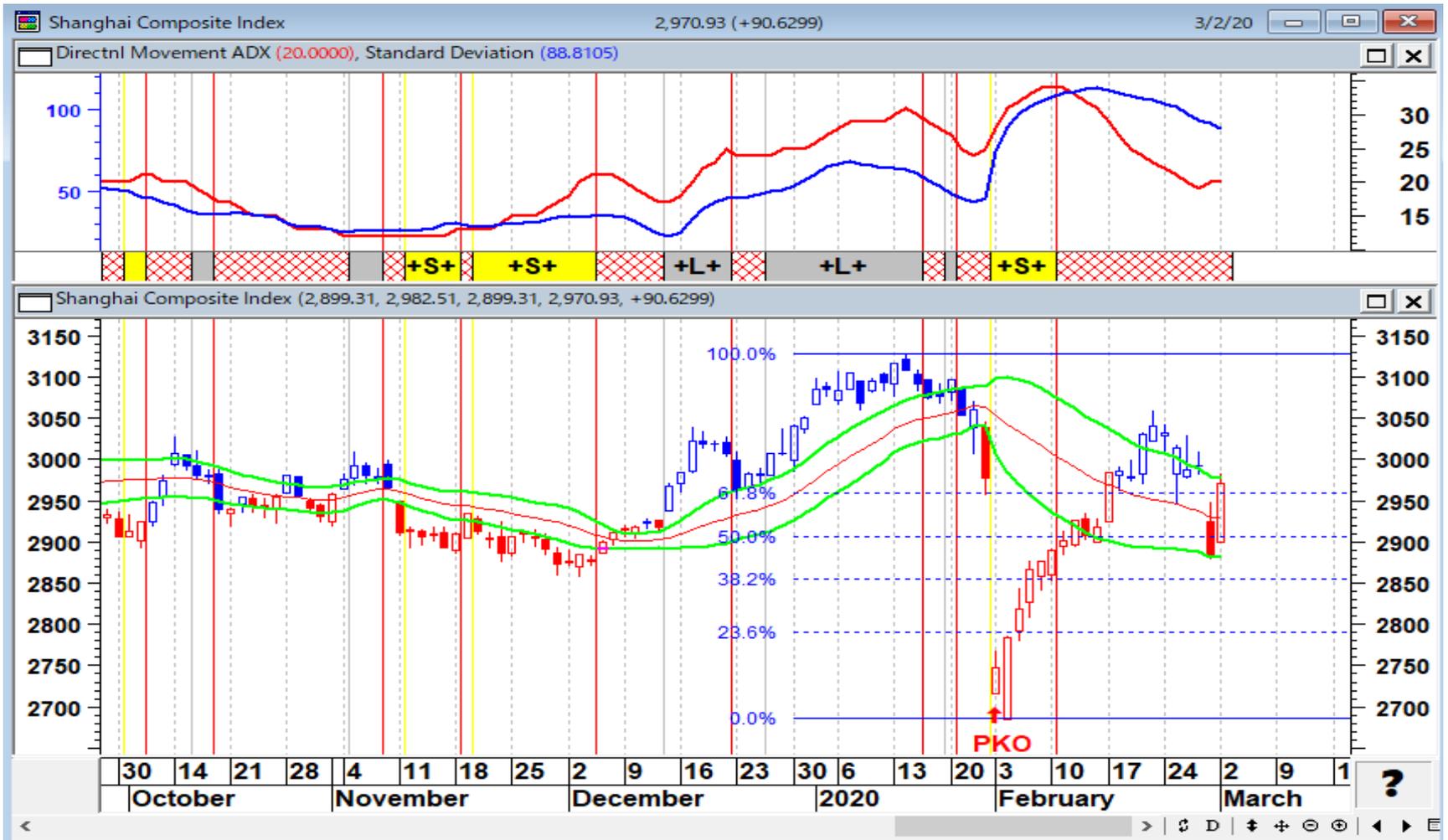


NYダウと1日の値幅



上海総合指数（日足）

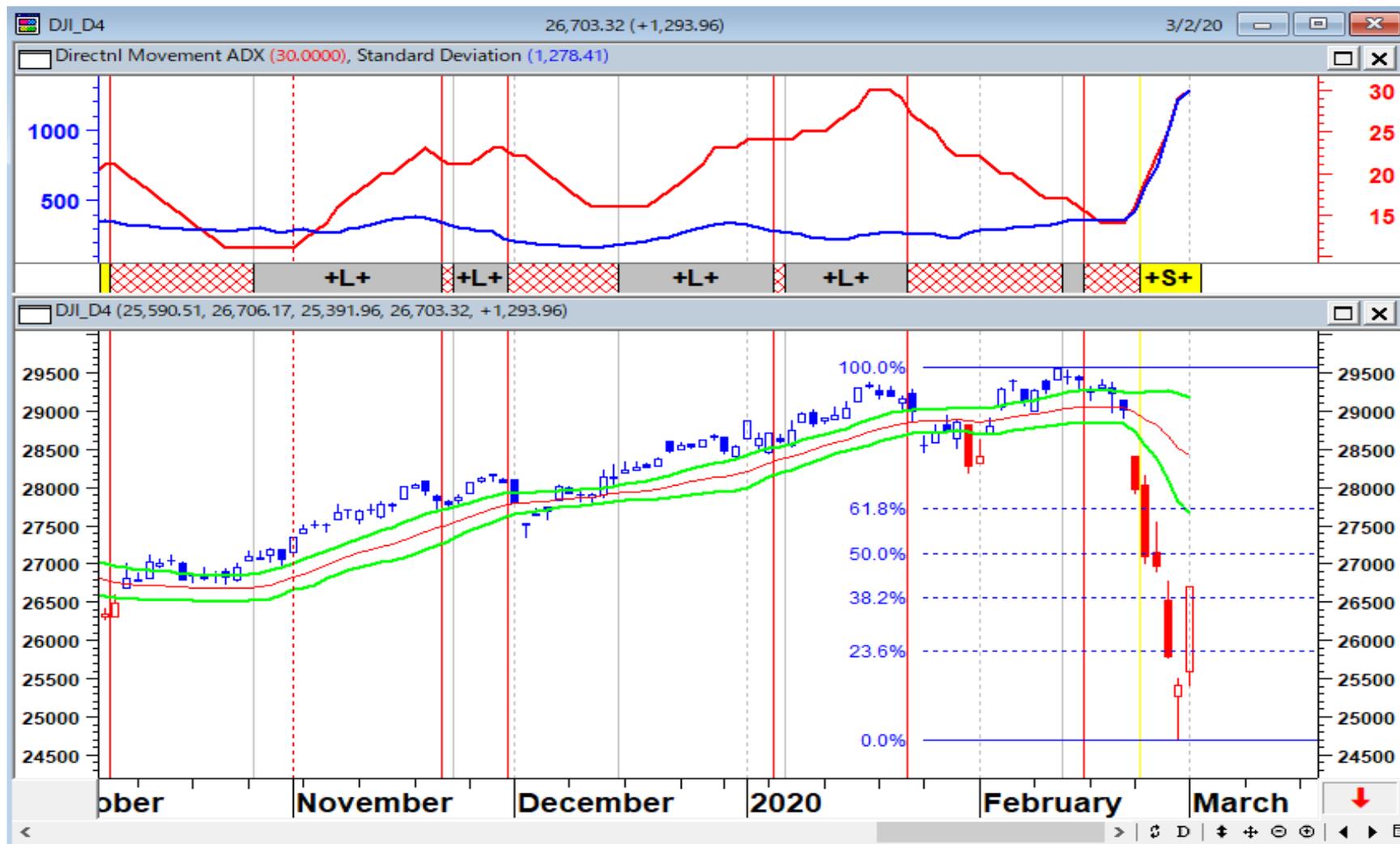
世界は国家資本主義に向かっている



出所：筆者作成

NYダウ（日足）

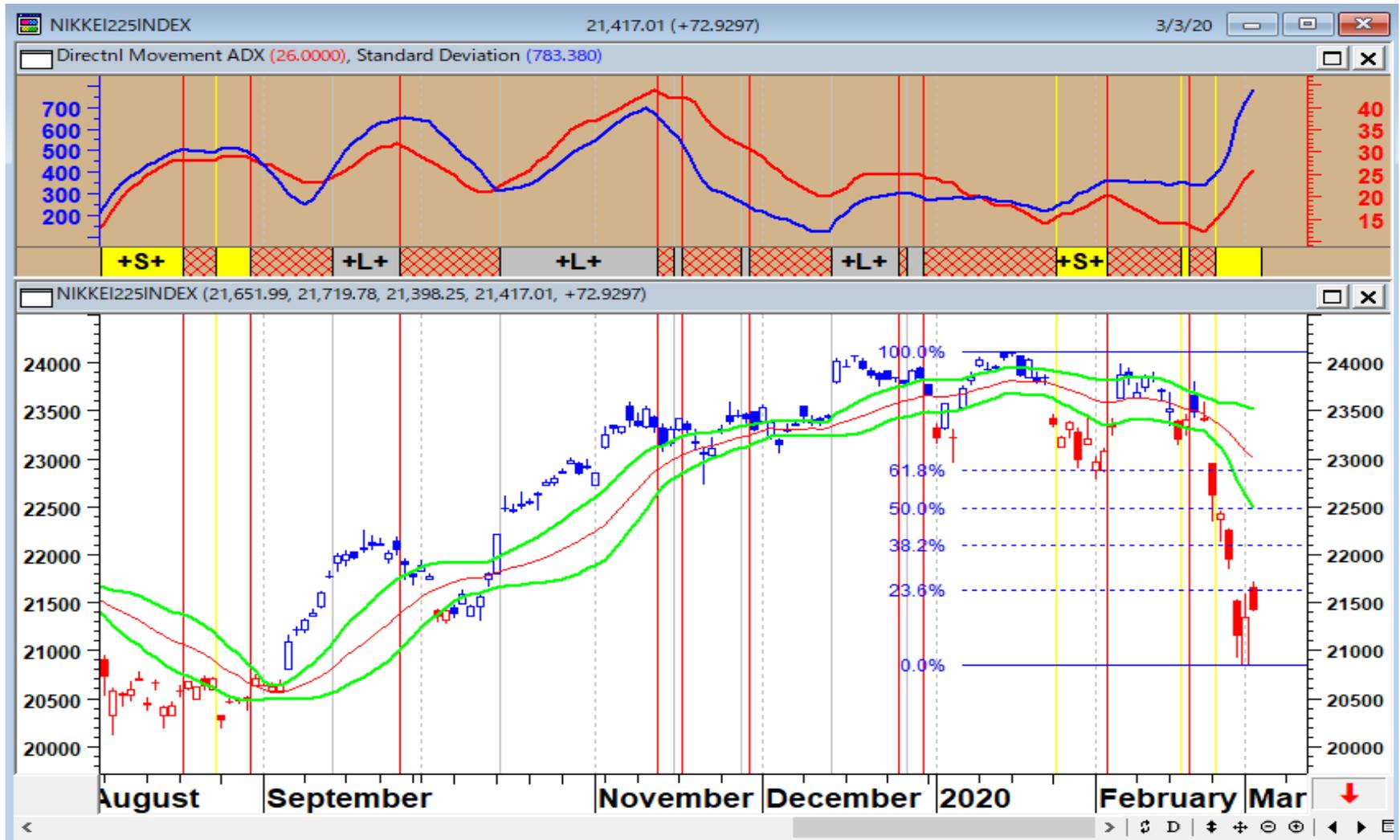
順張りの標準偏差ボラティリティトレードモデル



出所：筆者作成

日経平均（日足）

順張りの標準偏差ボラティリティトレードモデル



初めての楽天FXキャンペーン

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/campaign/fxdebut/>

はじめての楽天FXキャンペーン

抽選で100名様に

\石原順氏監修！／

書籍プレゼント



うち、10名様にサイン入りも！

対象 ▶ 楽天FX口座を新規開設された方

口座開設期間

2020年3月1日(日)0:00～3月31日(火)23:59

もれなくプレゼント

\100万通貨ごとに／

500ポイント プレゼント

対象 ▶ はじめて楽天FXでお取引された方
※既に口座開設済みのお客様も対象

取引期間

2020年3月28日(月)7:00～5月1日(金)5:55

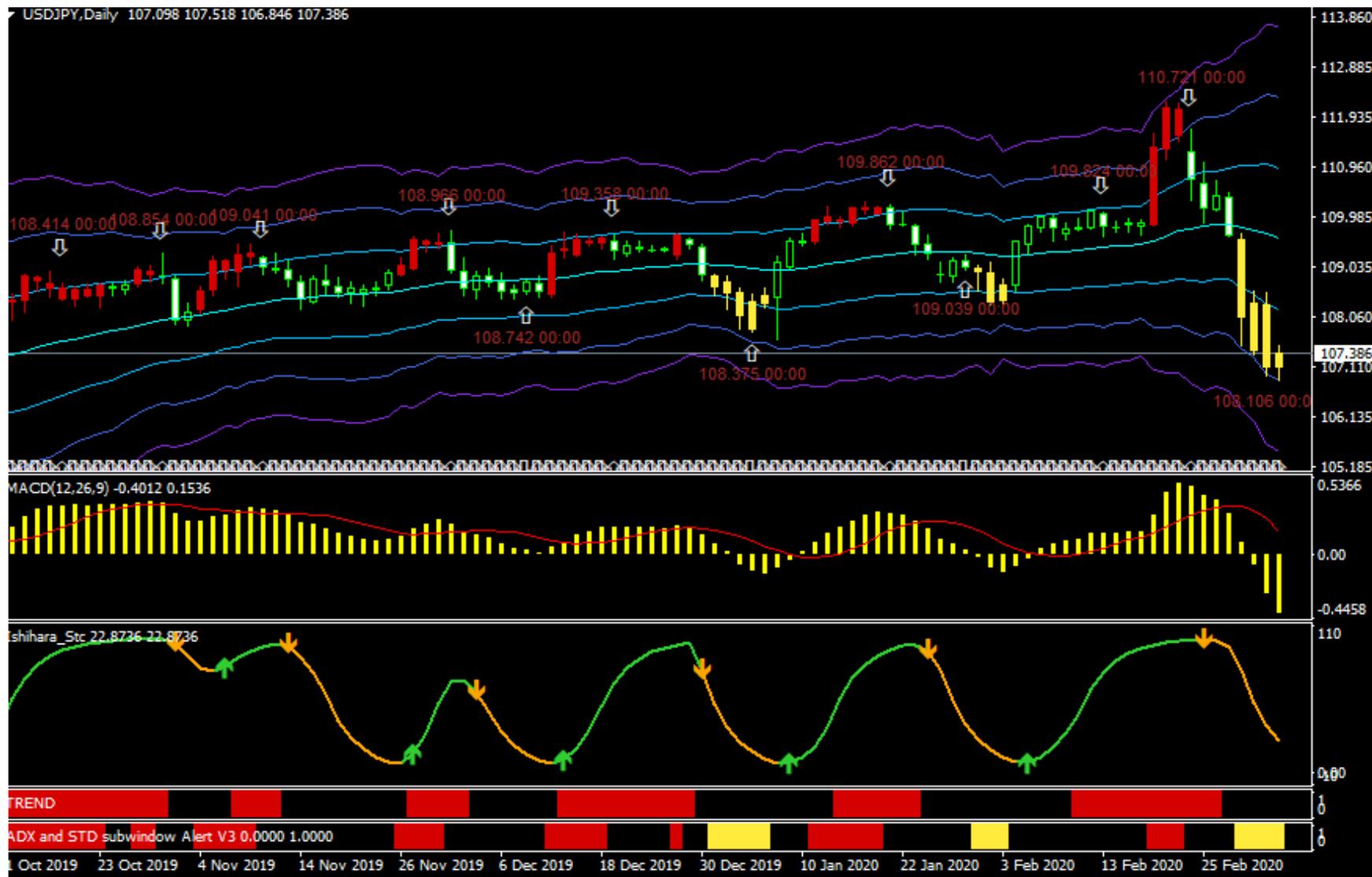
エントリー期間：2020年3月1日(日)0:00～3月31日(火)23:59

ユーロ/ドル (日足)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ドル/円 (日足)

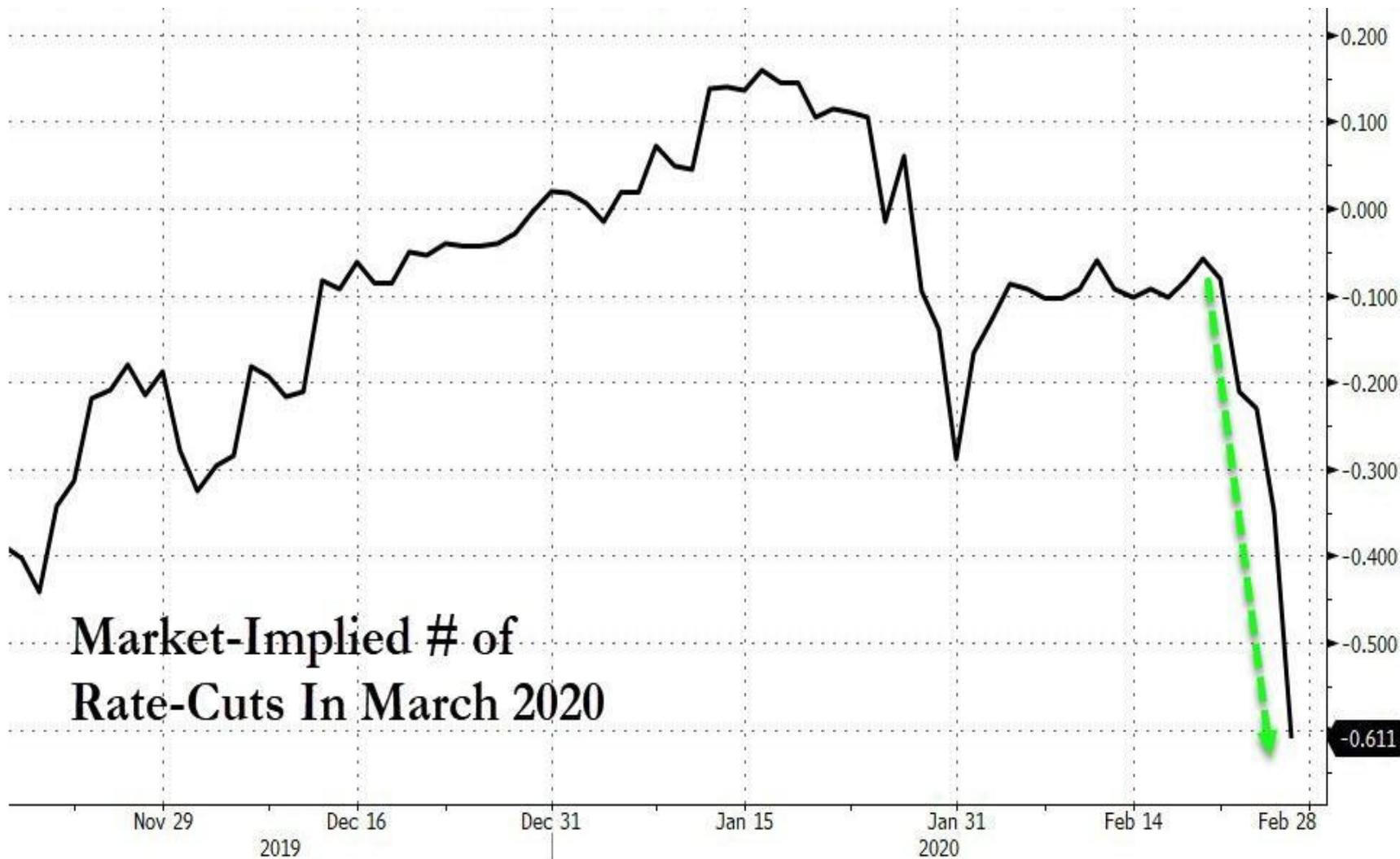


出所：楽天MT4・石原順インディケーター

メキシコペソ/円 (日足)



3月の0.5%利下げは必至というか織り込み済み。 年3回の噂も..

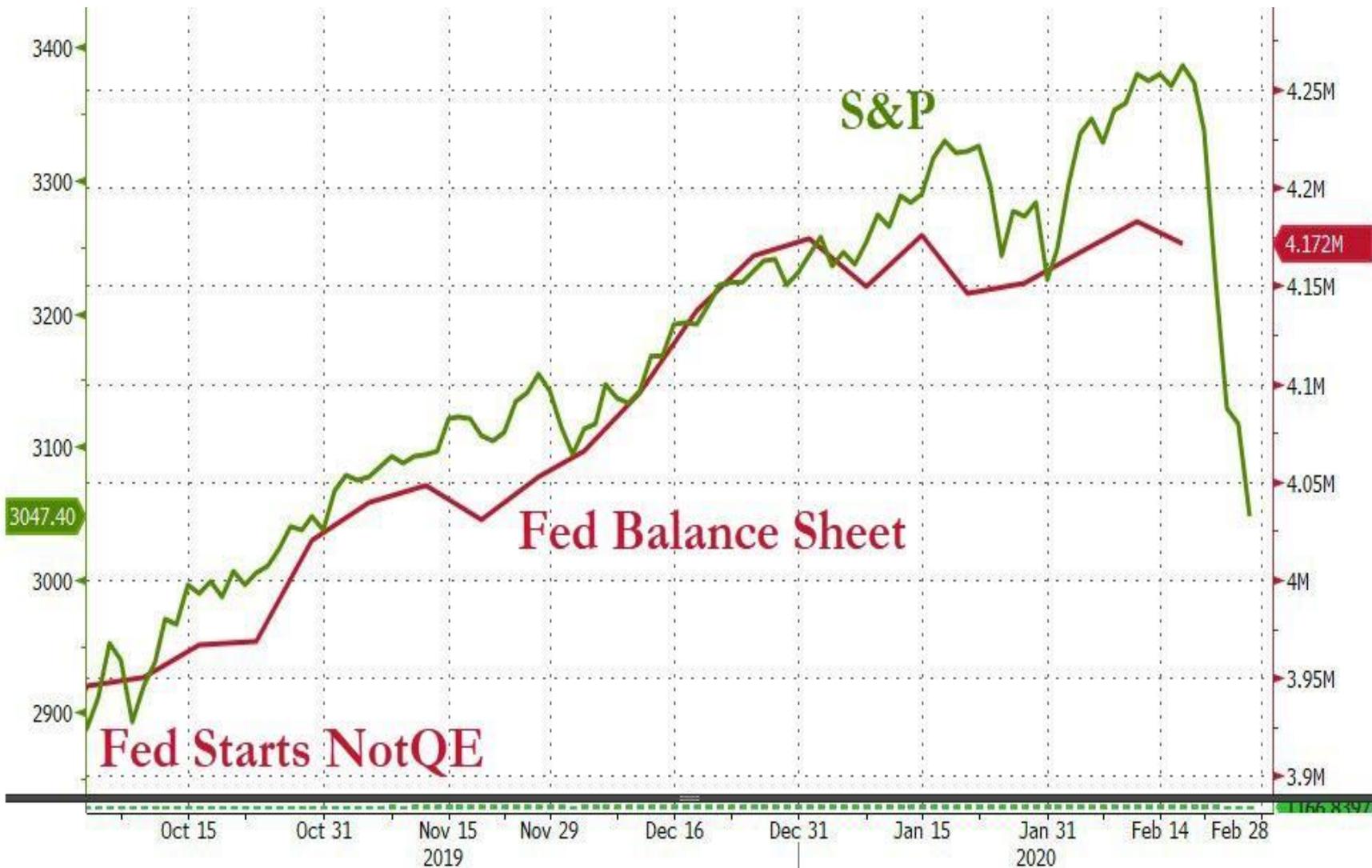


出所：ゼロヘッジ

利下げは新型コロナウイルスには効かない

今回の下落の要因を誰もが何かに求めようとしているが、結局はガートマンが指摘しているように、株価が極端に過大に評価されていたことが背景にある。FRBによる緊急利下げの思惑も出ているが、金利を下げたところでウィルスの感染拡大が止まるわけでも、目詰まりを起こしているサプライチェーンが復帰するわけでもない。

FEDのバランスシートとS&P500の推移



下落は米国の大統領選挙に向けて民主党候補として左派のバーニー・サンダース氏が台頭してきたことが背景？

債券王のガンドラックは、今回の株式相場の調整について、新型コロナウイルスの世界的な蔓延ではなく、米国の大統領選挙に向けて民主党候補として左派のバーニー・サンダース氏が台頭してきたことが背景にあると指摘している。

ウォール街の「債券王」ジェフリー・ガントラックは、バーニー・サンダース上院議員と彼のますます高まる民主党の大統領候補者選びが株式市場の最近の暴落を引き起こしたと信じている。コロナウイルスに対する懸念の高まりでボラティリティが上がっているとするエコノミストやアナリストとは異なる発言をしている。

この株式市場の反転がウイルスに起因するのであれば、ユナイテッドヘルスケアはなぜS&P 500に比較して、株価がかなり大きく落ちているのだろうか？ガンドラックは「なぜ医療セクターは広く買われていないのだろうか？市場はバーニーが指名を得る確率が50%以上と覚悟しているからだ。」

2020年2月26日 Market Insider「Bond king Jeff Gundlach claims Bernie Sanders is responsible for the market sell-off — even as other experts cite coronavirus fear（債券王のガンドラックは、市場の下落はバーニー・サンダースのせいだと主張 – 他の専門家がコロナウイルスの恐怖を引用しているにもかかわらず）」

1929年の世界恐慌時と 今回の中央銀行バブルのアナログモデル



「ガートマン・レター」のガートマン氏、最後のアドバイスは「売れ」だった・・・。

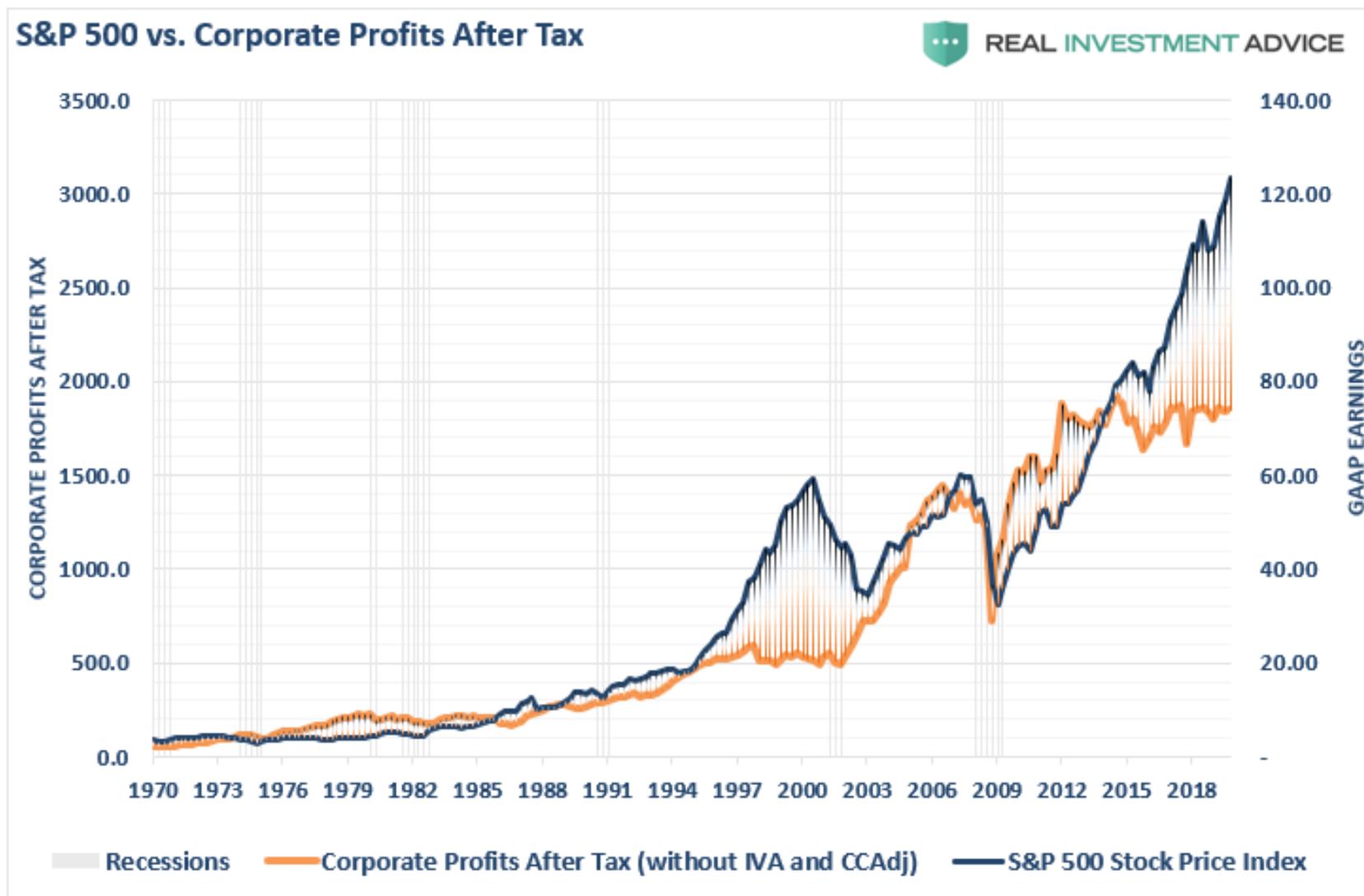
30年間にわたり、ヘッジファンドや銀行、証券会社などが購読していたニュースレター「ガートマン・レター」を毎日続けていたエコノミストのデニス・ガートマン氏が昨年12月、そのニュースレターの廃止を決めた。彼の最後のニュースレターでのアドバイスは「売れ」、資産の60%以上を現金で保有するよう勧めていた。そのガートマン氏が、27日、ブルームバーグラジオのインタビューで次のように話した。

上昇相場は戻り売りに見舞われる。買いを入れるべき軟調ではないようだ」と発言。「押し目買いにまだ意欲的な人がいかに多いか、私は興味深く見ており、困惑もしている。現時点でこの押し目は、人々が考えたレベルよりはるかに深刻だ。

企業収益や経済規模などに照らしてみると、株式は「極端に」過大評価されていると、ガートマン氏は指摘。新型コロナウイルスの感染拡大は世界の経済成長を脅かしているとし、金や国債など安全資産を投資家は買うべきだとの考えを示した。

2020年2月27日 ブルームバーグ「米株式市場の急落、押し目買いの好機ではないーガートマン氏」

S&P500と税引き後米国企業利益の推移



出所：筆者作成

米国株とGDPの推移

Total Market Cap and US GDP

YTD 1Y 3Y 5Y 10Y All

Save

Embed



バフェット指標（株の時価総額÷GDP）

The Ratio of Total Market Cap to US GDP

YTD 1Y 3Y 5Y 10Y All

Save

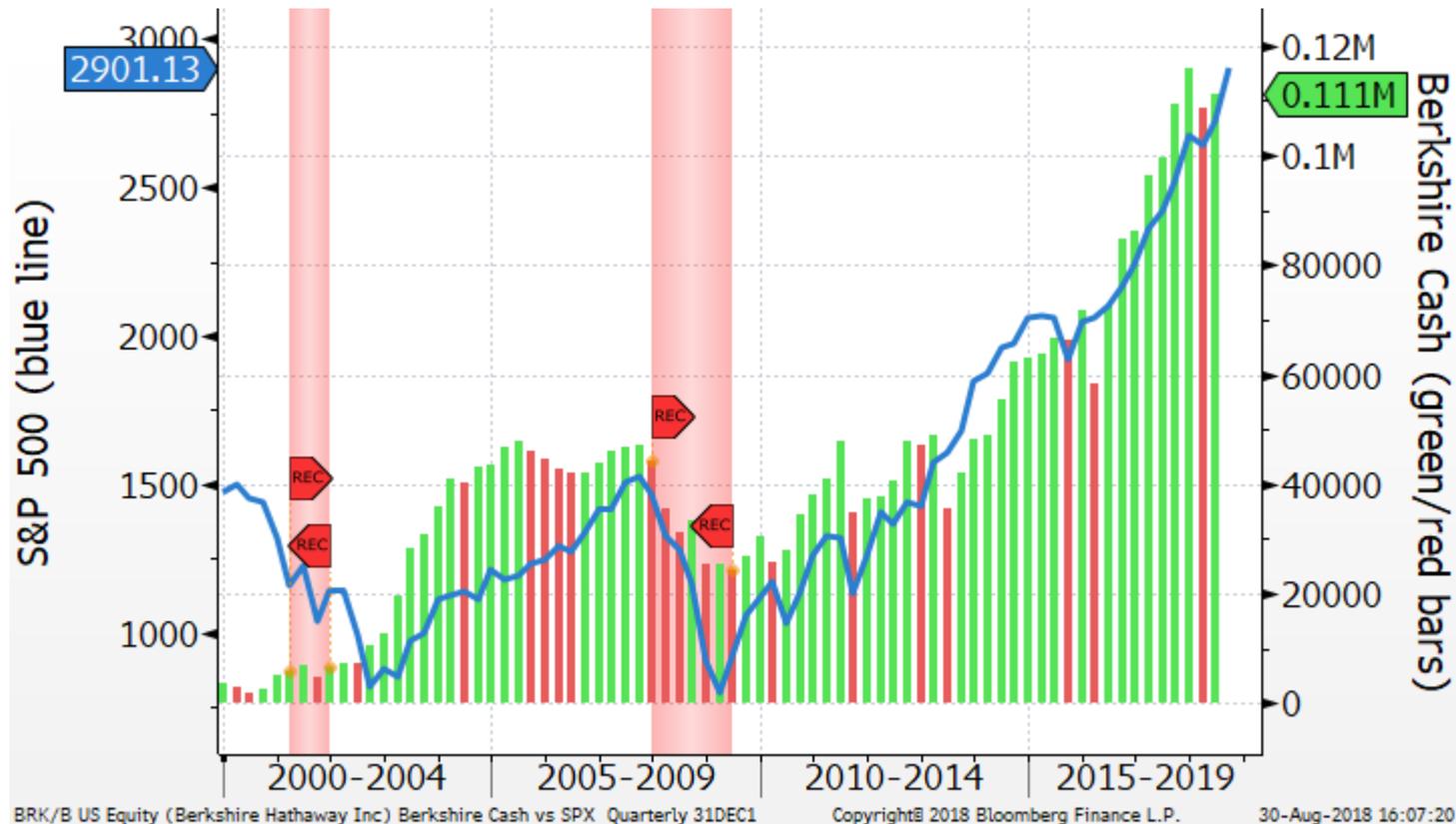
Embed



<https://www.gurufocus.com/stock-market-valuations.php>

S&P500とバフェットの現金ポジションの推移

ウォーレン・バフェットは暴落する前に株を売り、暴落すると株を買うという逆張り投資家だ。これは、なかなかできることではない。人間の心理に素直に従って投資行動をすると、暴落する前に株を買い、暴落すると株を売らざるを得ないというバフェットと逆の行動になってしまうのである。



出所：マーケットウォッチ

“Peace for Our Time” 「私たちの時代の平和」 (グッゲンハイム スコット・マイナード)

世界のほぼすべての中央銀行が（金融）システムに準備金を注入することで流動性の巨大な洪水が起きている。そして、今日の多くの投資家は個々の債券を購入することさえ行わず、取引可能なファンド対ETF（上場投資信託）のバスケットを購入している。債券の質などは問題にしない。実際にレートや価格を交渉している人はいない。ETF市場では価格の妥当性の検討などは行われないのでほとんどの場合、過去のデータを使用して価格が設定される。その結果、証券がどこで取引されているかによって決まる非市場価格となり、追加の価格検証も行われなない。つまり、誰も個別の債券価格を交渉していないことになる。もしインデックスに入っている場合は、購入すべきだ！こうやって価格が決まるのだ。

これは最終的にはひどいことになる。私のキャリアの中で今起きていることほどおかしなものを見たことはない。